

第 37 回建設業経理士 1 級財務分析 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。
問 1

考課法とは、いくつかの適切な分析指標を選択し、各指標ごとにどの程度の範囲ならば何点かの経営考課表を作成しておき、☆この表の中に各企業の実績を当てはめて評価しようとする総合評価法の 1 つである。☆経営事項審査もこの手法の 1 つといえる。☆

各指標にはウェイト付けが行われ、各指標別に設定されたランクに応じた配点がウェイトの範囲内で行われ、その総合点で企業を評価するため、☆客観的な評価となるよう、使用する指標の選定やそのウェイト付け、ランク付けや配点などの精度を高める必要がある。☆

問 2

財務諸表のうち損益計算書の数値に基づく企業評価法として、収益還元価値法がある。☆☆これは、損益計算書上の当期純利益を用い、過去 3 年間程度の当期純利益の平均である平均利益を利子率で除して求める収益還元価値を企業評価に用いるというのが基本的な計算方法である。☆

ただし、この計算は平均利益がその企業において永久に継続するものとみなしたものであるという仮定に基づいているため、☆状況に合わせて、年数を限って毎年の利益を予測し、その現在価値の総計を評価額とすることもある。☆

予想採点基準

☆の前の文の内容が正解で
☆… 2 点 × 10 = 20 点

〔第2問〕

記号 (ア～ハ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
カ	ア	コ	セ	キ	ニ	ト	ソ	ナ	チ	ス
☆	☆	☆	☆	★	★	★	★	★	★	★

予想採点基準

☆… 2点 × 4 = 8点

★… 1点 × 7 = 7点

合計 15点

〔第3問〕

(A) ☆ 百万円 (百万円未満を切り捨て)

(B) ☆ 百万円 (同 上)

(C) ☆ 百万円 (同 上)

(D) ☆ 百万円 (同 上)

損益分岐点比率 ☆ % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

予想採点基準

☆… 3点 × 5 = 15点

〔第4問〕

問1 ☆ 千円 (千円未満を切り捨て)

問2 ☆ % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

問3 ☆ 千円 (千円未満を切り捨て)

問4 ☆ 千円 (同 上)

問5 ☆ (単位省略) (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

予想採点基準

☆… 4点 × 5 = 20点

〔第5問〕

問1

- A 経営資本営業利益率 ☆ % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)
- B 立替工事高比率 ☆ % (同 上)
- C 運転資本保有月数 ☆ 月 (同 上)
- D 未成工事収支比率 ☆ % (同 上)
- E 純支払利息比率 ☆ % (同 上)
- F 設備投資効率 ☆ % (同 上)
- G 完成工事高キャッシュ・フロー率 ☆ % (同 上)
- H 付加価値増減率 ☆ % (同 上) 記号(AまたはB)
- I 流動比率 ☆ % (同 上)
- J 配当率 ☆ % (同 上)

問2

記号 (ア～モ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
カ	ス	ア	シ	キ	ナ	ノ	サ	チ	ホ
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★

予想採点基準

☆ … 2点 × 10 = 20点

★ … 1点 × 10 = 10点

合計 30点